「世界のキオスク端末（セルフサービス／インタラクティブキオスク）市場2022年－2031年：製品タイプ別（フードキオスク、ビバレッジキオスク）」調査レポート（市場規模・動向・予測）を取り扱い開始しました

2022年9月21日
株式会社マーケットリサーチセンター

株式会社マーケットリサーチセンター（本社：東京都港区、世界の市場調査資料販売）では、「世界のキオスク端末（セルフサービス／インタラクティブキオスク）市場2022年－2031年：製品タイプ別（フードキオスク、ビバレッジキオスク、リテールキオスク、パーキングキオスク、電気自動車充電キオスク、患者用インタラクティブキオスク、情報キオスク、人事雇用キオスク、チェックインキオスク、ATMキオスク、その他）」調査資料の販売を2022年9月21日
に開始いたしました。キオスク端末（セルフサービス／インタラクティブキオスク）市場規模、動向、予測、関連企業の情報などが盛り込まれています。

■レポートの種類：グローバル市場調査レポート
■レポートのタイトル：世界のキオスク端末（セルフサービス／インタラクティブキオスク）市場2022年－2031年：製品タイプ別（フードキオスク、ビバレッジキオスク、リテールキオスク、パーキングキオスク、電気自動車充電キオスク、患者用インタラクティブキオスク、情報キオスク、人事雇用キオスク、チェックインキオスク、ATMキオスク、その他）
■英文タイトル：Kiosk [Self-service/Interactive Kiosk] Market （Product Type: Food Kiosks, Beverage Kiosks, Retail Kiosks, Parking Kiosks, Electric Vehicle Charging Kiosks, Patient Interactive Kiosks, Information Kiosks, Employment Kiosks, Check-in Kiosks, Automated Teller Machines Kiosks, and Others） - Global Industry Analysis, Size, Share, Growth, Trends, and Forecast, 2022-2031
■発刊日：2022年9月5日
■出版社：Transparency Market Research（トランスペアレンシーマーケットリサーチ）

■レポート形態：PDF（Eメールによる納品）

■主な掲載内容
キオスク端末（セルフサービス/インタラクティブキオスク）は、顧客が独立して物事を行うことができるようにすることで、顧客のエンパワーメントに貢献しています。セルフサービス型デジタルインタラクティブキオスクは飛躍的な発展を遂げています。これは、拡張性、時間短縮、費用対効果に優れたソリューションで、顧客の心を打つことができます。インタラクティブキオスクは、ロボティクス、AI、アナリティクスの登場により脚光を浴びています。キオスク端末を通じたユーザーフレンドリーでインタラクティブな体験が、この分野での激しい競争の中でインタラクティブキオスクの市場規模を増加させています。デジタルキオスクディスプレイは、多目的な産業用途で広く使用されています。このため、予測期間中にキオスク端末（セルフサービス／インタラクティブキオスク）市場の活性化が期待されています。セルフサービス／インタラクティブ・キオスクの種類としては、フードキオスク、ビバレッジキオスク、リテールキオスク、人事雇用キオスク、EV充電キオスクなどが挙げられます。

セルフサービス技術市場の成長により、キオスク端末に高度なプログラミングが採用されるようになりました。これにより、顧客とのインタラクションプロセス全体が効率化され、ユーザーとインタラクティブ・キオスク・ソフトウェアの間でリアルタイムのインタラクションが行われるようになりました。小売業や金融業では、顧客サービス向上のための業務の近代化に伴い、キオスク端末（セルフサービス／インタラクティブ・キオスク）の導入が進んでいます。乗客や航空会社も、遅延や長蛇の列を避けるために、空港でのセルフチェックイン/チェックアウト、書類スキャン、バッグ回収、フライト再予約のためのセルフサービス型キオスクを求めています。乗客は、セルフサービスのチェックイン・キオスクやタッチスクリーン・キオスクの存在に好意的な反応を示しています。

中国やインドなどの発展途上国では、近年生活水準が向上しています。特にインド、バングラデシュ、インドネシア、タイなどの国々では、人々の可処分所得が増加した結果、都市化が進んでいます。これらの発展途上国では、小売業が確立しています。国際的な小売業者がセルフ・オーダー・キオスク市場への参入に注力しています。世界人口の間で非現金取引のユーザー受容の増加は、セルフサービスキオスク市場を駆動する主要な要因の1つです。2021年の非現金取引の大半は米国が占めており、米国では約82%の人が同年にデジタル決済を利用し、前年の78%、5年前の72%を上回りました。デジタル決済には、ブラウザやアプリを使ったオンライン購入、携帯電話やQRコードを使った店舗でのチェックアウト、個人間決済（P2P）などが含まれます。このように、オンライン決済の普及により、近い将来、セルフサービス・キオスクの需要が高まると予想されます。これがデジタルキオスク端末の市場を牽引していくものと考えられます。

リテールキオスクとフードキオスクは、製品タイプ別でセルフサービスキオスク市場を引き続き支配しています。これは、食料品やその他の必需品の需要の増加が食料品業界を牽引していることに起因しています。スーパーマーケット、コンビニエンスストア、デパートなどの小売店の出店は、必需品の需要増に起因しています。これは、インタラクティブキオスクの需要を増大させることが予想されます。米国国勢調査局（米国メリーランド州連邦統計制度機関）が発表したデータによると、小売・飲食サービス全体の売上高は2021年に12.9%の成長を経験しました。

■レポートの詳細内容はこちら
https://www.marketresearch.co.jp/data1/kiosk-self-serviceinteractive-kiosk-market-product-type/

■レポートに関するお問い合わせ・お申込みはこちら

https://www.marketresearch.co.jp/contacts/

■調査会社Transparency Market
Research（トランスペアレンシーマーケットリサーチ）について
https://www.marketresearch.co.jp/Transparency－Market－Research/
株式会社マーケットリサーチセンターはTransparency Market
Researchの日本での正規販売代理店です。

■株式会社マーケットリサーチセンターについて
https://www.marketresearch.jp
主な事業内容：市場調査レポート販売、市場調査サービス提供
本社住所：〒105－0004 東京都港区新橋1－18－21
TEL：03－6161－6097 FAX：03－6869－4797
マーケティング担当 marketing@marketresearch.co.jp

Generated by ぷれりりプレスリリース
https://www.prerele.com